



# 地方自治法 B（事例研究編）

## 研修のねらい

地方自治法の仕組みについて理解を深めるとともに、解釈運用上の重要な課題と対応、新たな制度について学び、自治体職員としての職務遂行能力の向上を図ります。

## 受講対象者

市町村職員：75人  
主任級以下の職員

## 開催日時

12/3(木)・12/4(金)・12/10(木)・12/11(金) 9:00~16:30

## 備考

**参考図書**  
(講義内容の理解を深めるために、事前学習や復習に最適な図書です。)

【概説書】板垣 勝彦 著  
『自治体職員のためのようこそ地方自治法（第5版）』（第一法規）

【概説書】猪野 積 著  
『地方自治法講義（第6版）』（第一法規）

【コンメンタール】佐藤 文俊 著  
『逐条地方自治法』（学陽書房）



## 研修概要

中央大学大学院法務研究科【1日目】  
教授 土田 伸也

- (講義) ・地方自治と法  
・地方公共団体の種類  
・地方公共団体の組織  
(演習) ・地方公共団体の組織等

- 【2日目】  
(講義) ・地方公共団体の事務  
・自治立法  
(演習) ・地方公共団体の財務・条例

- 【3日目】  
(講義) ・関与の仕組み  
・紛争処理の仕組み  
・地方公共団体相互間の協力関係  
(演習) ・国と地方公共団体の関係

- 【4日目】  
(講義) ・住民による直接請求と監査制度  
・住民訴訟  
・住民投票  
(演習) ・住民訴訟・公の施設



## こんな人におすすめ

- ・法令解釈や運用の応用力を深めたい人
- ・ケーススタディで判断力や対応力を高めたい人



## 得られるスキル

- ・情報収集能力（法令や判例から必要な情報を整理できる）
- ・業務処理能力（住民説明や相談対応に活かせる）



## 受講者の声

- ・大学の先生による専門的でわかりやすい解説のおかげで、地方自治法の理解が深まった。
- ・演習を通して、実務で活かせる知識を習得できた。